

中学校

「家族愛」だけにとどまらないように留意します。

- 主題名 生きることの素晴らしさ (D 生命の尊さ)
- 教材名 「あなたはすごい力で生まれてきた」
- ねらい 母親と赤ん坊の二者の共同作業である出産を手がかりに、命というものの原点、人が生きていくことの原点を理解し、生命の尊厳について考える。
- 学習指導過程

	学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応)	具体的な指導・援助
導入 5分	<p>◇「生命の尊さ」について扱うときは、各教科・領域等で、動物とのふれあい体験や乳幼児とのふれあい体験、交通事故被害者のご遺族の方からお話を聞く体験など、本物と関わる体験的な道德教育を行っておき、その体験を道德科で深化・統合する学習を行うと、より深い学びができるようになります。</p> <p>◇上記のように、これまでの学習と道德科の授業とを関わらせることは、どの内容項目についての学習でも同じです。道德科は、学校の教育活動全体で行う道德教育を補充・深化・統合する役割を担っています。</p>	
	<p>◇道德科の授業を公開することは、学校における道德教育への理解と協力を家庭や地域から得るためにも極めて大切です。保護者の方に授業を参観してもらうことは、「命の尊さ」について、生徒が保護者と一緒に考えたり、家に帰ってからの話題にしてもらったりする機会を作ることになります。</p>	
	<p>1. 今日は、出産についてのお話をもとに自分の考えを出し合い、みんなで話し合いをします。</p> <p>2. みんなは自分が生まれた時の話を聞いたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれるまでにすごく時間がかかったらしい。 ・予定より早く生まれた。 ・へその緒を見せてもらったことがある。 ・聞いたことがない。 	<p>・家庭環境に十分配慮が必要なことから、担任が原則、授業を行う。</p> <p>・出にくい場合は、教師自身の例を挙げる。</p> <p>◇事前に保護者へのアンケートなどを行っておくと、生徒への配慮とともに、本時の指導に活用することができます。</p>

<p>展開 40 分</p>	<p>3. 教材「あなたはすごい力で生まれてきた」を聞く。</p>	<p>・教師が範読する。</p>
	<p>4. 教材をもとに考え、話し合う。</p> <p>○「赤んぼうが外界へ出たときにあげる産声は、母親と一緒に共同作業を終えて、『やった、やった』と叫ぶ歓声のようにも思えてくる」のは、どうしてだろう？</p> <p>・お母さんだけが頑張ったんじゃなくて、赤ちゃんもがんばったから。</p> <p>・お母さんも赤ちゃんも命がけだから。</p> <p>・赤ちゃんが命がけで生まれようとしている時に、お母さんも命がけで励ましてくれたから。</p>	<p>◇「何ページの何行目にあるように」と、生徒が教材から答えを探して発表する活動は、いわゆる「読み取り道徳」であり、道徳科にふさわしい指導方法ではありません。</p> <p>◇範読を通して、感じたことや、自分自身の経験をもとに、自分の言葉で話し合うようにします。</p> <p>◇教材の中に答えがないところが国語科の読み取りとは異なります。</p> <p>◇生徒が自分の考えを発表した後、「この人もそう思ったのかもしれないね」と自分と教材とをつなぎます。</p> <p>◇意見を出さなかった生徒には、黒板を活用して「みんなはどの意見が近いかな」などと、自分との関わりをもたせるようにします。</p>
	<p>○あなたは、「すごい力で生まれてきた」ことについて、生まれてきた命とはどのようなものだと思いますか。</p> <p>・どんな命も生きるための素晴らしい力を持っているんだと思った。</p> <p>・自分一人で命があるわけではないんだと思った。</p> <p>・命って尊いものだった。</p> <p>・人間だけではなく、すべての命が貴重と思った。</p> <p>・自分が生まれるときに大変だったことを聞いていたけど、自分も頑張ってる生まれてきているんだと思うと、自分ってすごいと思った。</p>	<p>・意見が出にくい場合は、事前に保護者に聞き取ったアンケートから、生まれた時のエピソードをもとに意図的に指名する。</p> <p>・生命の連続性や有限性、偶然性（自分がここにいる不思議）や、他の生命との関係性等の側面からより多面的・多角的に捉え、考えられるよう、他の教科での学習を踏まえて聞くようにする。</p> <p>◇道徳教育の全体計画の別葉を生かすことが大切です。</p>
	<p>◇生徒の話の聴き方が上手な教師であるためには、思いを丁寧に引き出すことや、日頃から褒めることなど、生徒の自己肯定感を高める意識が大切です。</p>	
	<p>5. 命について、自分はどのように考えていたか振り返る。</p>	
<p>終末 5 分</p>	<p>6. 「いのち支えるプロジェクト」キャンペーンソングである、「あかり」（作：ワカバ 内閣府 平成22年度）を紹介する。</p>	<p>◇1単位時間の中で、教師が「これだけは」というメッセージを生徒に伝えるとき、通信等で紹介すると、家庭での対話につながります。</p>

<板書計画>

第〇〇回 道徳

あなたはすごい力で生まれてきた

『やった、やった』と叫ぶ歓声のようにも思えてくるのはなぜ？

ネームプレート

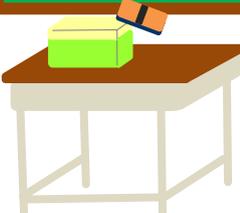
- ・お母さんだけが頑張ったんじゃないから、赤ちゃんもがんばったから。
- ・お母さんも赤ちゃんも命がけだから。
- ・赤ちゃんが命がけで生まれようとしている時に、お母さんも命がけで励ましてくれたから。

「すごい力で生まれてきた」ことについて、生まれてきた命とはどのようなものだろうか。

ネームプレート

- ・どんな命も素晴らしい力を持っている。
- ・自分一人で命があるわけではない。
- ・尊い。
- ・すべての命が貴重。
- ・自分ってすごい。

自分が
生まれたとき
時間がかかった
へその緒を
見せてもらった
予定より早く
生まれた

- 
- ◇授業後は、保護者から生徒への手紙を依頼したり、通信を活用して家庭でも話題にしてもらったりなどの方法が考えられます。
 - ◇生徒の成長を保護者と共有したり、保護者の声を聴いたりできるよう、道徳ノートや道徳ファイルなどを活用する取組も考えられます。